

鳥獣被害を地域で防ぼう

■問い合わせ先
農林振興課 ☎46-5564

町内の鳥獣被害状況

町や関係機関で構成する「町鳥獣被害防止対策協議会」では、拡大する鳥獣被害に対応するため、イノシシなどの有害鳥獣の捕獲や、田畑への侵入を防ぐ電気柵の設置などの対策を進めてきました。

令和3年度は、町内では過去最高の頭数となるイノシシ59頭、ニホンジカ22頭を捕獲しました。また、電気柵の設置延長は17.7キロに及んでいます。

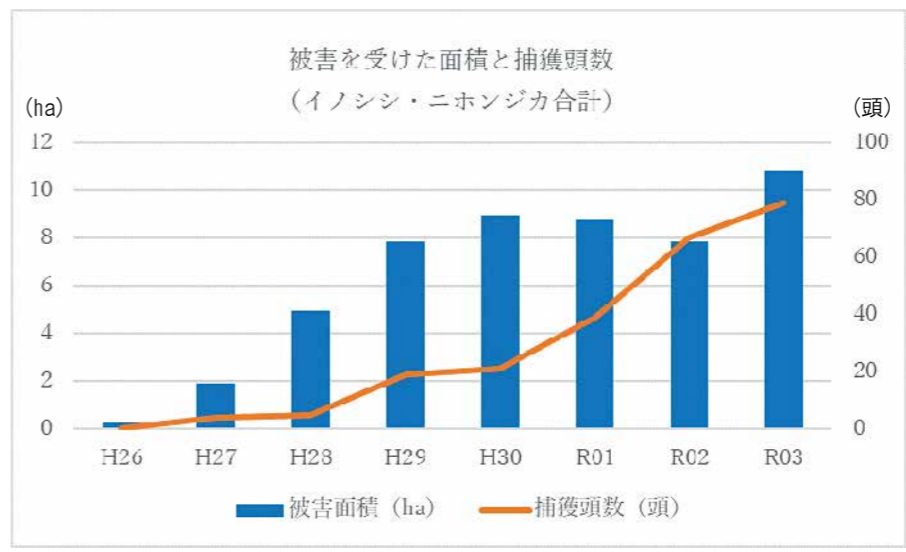
しかし、同年の農作物被害は町内全体で10.8畝となっていて、多くの被害対策を実施しているにもかかわらず、被害が増加傾向となっています。(グラフ1)



イノシシ



ニホンジカ



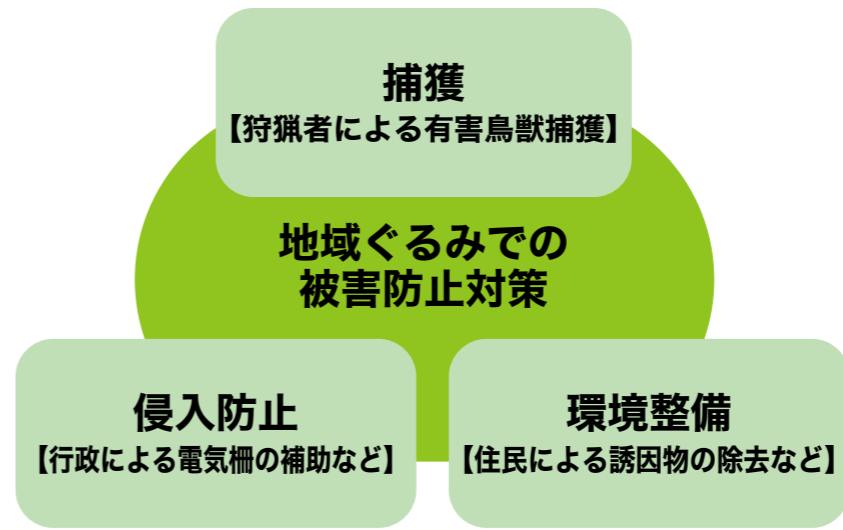
グラフ1 イノシシ・ニホンジカによる被害の推移

イノシシ・ニホンジカによる被害を防ぐためには、行政や農業者だけでなく、地域全体でこれまで以上に効果的な対策に取り組んでいく必要があります。

対策は地域ぐるみで行おう

イノシシやニホンジカによる被害の防止には、生態個体数を減らすための「捕獲」はもちろんですが、農作物を守る電気柵などを用いた「侵入防止」、誘引物の除去や緩衝帯を設ける「環境整備」の3つを組み合わせた地域ぐるみの取り組みが、より効果的な対策になります。地域ぐるみで日常的に対策をとることで、野生鳥獣の出没にくい地域にしましょう。

鳥獣対策の効果的な取り組みイメージ



【捕獲】

町では、平成25年度から「平泉町鳥獣被害対策実施隊」を設置し、狩猟免許を有しかつ捕獲に関する専門的な知識をもつハンターを隊員に任命しています。

現在は、31人の隊員が町の非常勤特別職として、イノシシ・ニホンジカの大型獣に対し、わななどを用いて捕獲する任務にあたっています。

■狩猟免許の取得補助

町では、捕獲の担い手である狩猟者を育成・発掘するため、狩猟免許を新たに取得する人に対し経費の一部を補助します。取得を検討する場合は、事前に農林振興課までご連絡ください。

▽交付対象

町民であり今後、西磐猟友会および平泉町鳥獣被害対策実施隊に加入することが見込まれる人

▽補助対象経費

①狩猟免許の申請手数料、②狩猟者登録の申請手数料、③狩猟税相当額

【侵入防止】

町内の農家でも設置が増えている電気柵。有害鳥獣に対して軽い電気ショックを与えることで、田畑への侵入を防ぐ「心理柵」であり、高い効果を発揮します。

■侵入防止柵補助事業

町では、有害獣による農作物等被害に悩みの町民・地域に、侵入防止柵資材購入費を補助します。検討する場合は、事前に農林振興課までご連絡ください。

▽交付対象物

侵入防止柵
(電気柵、ワイヤ
ーメッシュ柵、
金網柵)
▽交付対象経費
対象物の資材費



農家団体による電気柵の設置

【環境整備】

■緩衝帯をつくる

基本的には鳥獣は、とても警戒心が高く、えさ場のできるだけ近くに自分の身を隠せる安全な場所があると安心します。

農地の近くにある耕作放棄地や管理不足の林、藪などは、こうした鳥獣の隠れ場となります。

す。こうした隠れ場を解消し、森林と農地の間に緩衝帯を作るだけで、大きく被害が減ることもあります。

■放任果樹に注意!

屋外に放置された放任果樹や野菜くずは、有害鳥獣の大好物です。こうした無意識の「餌付け」が集落や農地に鳥獣を呼び寄せることとなります。

一緒に活動する仲間が増えてくれると心強い

私が狩猟を始めたのは、カラスの有害駆除を考えていた時に、狩猟免許の取得を勧められたことがきっかけでした。それからシカの巻狩りなどに参加し、活動を続けて19年になります。

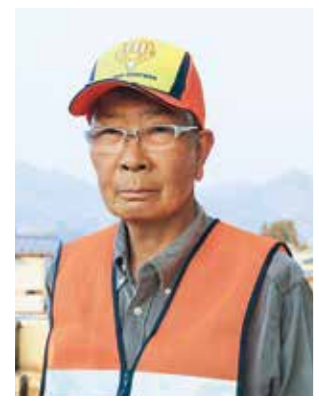
狩猟の魅力は、鳥獣を仕留めた時の達成感はもちろんですが、仲間と協力して取った獲物を食べることができるのも楽しみの一つです。日々、山の恵みに感謝しながら活動しています。

町内で鳥獣による農作物被害が年々増えてきていますが、農家の

方々の協力やハンターの尽力によって被害の拡大を何とか食い止めている状態です。鳥獣パトロールをしていると、やはり電気柵を設置していると目に見えて分かります。

最近では、自分の農地を守るために狩猟免許を取得する農家が増えており、うれしく感じています。猟友会には丁寧に指導できる先輩ハンターがたくさんいますので、狩猟に興味のある人はぜひ声をかけてください。一緒に活動できる仲間が増えてくれると心強いです。

Interview



西磐猟友会平泉分会
会長
沼田秀夫 さん
(11区)